

西牧大使によるワン・エコノミー財団 Be Free キャンパス訪問 (令和 6 年 9 月 27 日)

2024/09/27

令和 6 年 9 月 27 日、西牧大使は、令和 4 年度 UNFPA 補正予算プロジェクト「誰も取り残さない 新型コロナウイルスからのよりよい復興、すべての人たちの尊厳の回復、未来の再創造、ジェンダーに基づく暴力がもたらす負の影響の緩和」（供与額：70 万米ドル）で、フル装備の移動式診療車 1 台並びに靴ランドリー・イニシアチブを支援したワン・エコノミー財団（One Economy Foundation）の Be Free キャンパスを視察しました。本プロジェクトでは、UNFPA がワン・エコノミー財団と協力して、生計のための技能開発、生活技能訓練、メンタルヘルスと心理社会的支援、必要不可欠な性と生殖に関する健康（SRH）、ジェンダーに基づく暴力（GBV）の予防と対応を対象としたプロジェクトの活動を実施しており、対象となる主な受益者は、社会的弱者の青少年と若者です。



集合写真：ゴールドソン UNFPA 代表（写真中央右）と西牧大使（写真中央右）